

令和８年度 第１回港区区政会議 全体会 議事録

１ 日 時 令和８年６月２３日（火曜日） 午後７時００分～８時２５分

２ 場 所 港区役所 ５階会議室

３ 出席者

（委 員）対面：上田委員、王委員、柏原委員、古島委員、後藤委員

高崎委員、高橋委員、疊谷委員、鳥取委員、西川委員

西田委員、野村委員、早田委員、平尾委員

松尾（健）委員、宮崎委員、村田委員、

森田委員、山野委員

（市会議員）対面：西議員

（港区役所）対面：間嶋区長、菅原副区長、奥本総務課長、武内総合政策担当課長、

五十嵐協働まちづくり推進課長

村上教育担当課長、今田エリア開発推進担当課長、

宇野保健福祉課長、久井保健・子育て支援担当課長

岡添窓口サービス課長、小林総合政策担当課長代理、

４ 議 題

（１） 港区将来ビジョンの策定に関する意見交換について

（２） 前回の会議後にいただいたご意見への回答

（３） ご意見を反映した施策の紹介

（４） その他

○小林課長代理 皆様、こんばんは。定刻となりましたので、令和８年度第１回港区区政会議全体会を開会いたします。委員の皆様におかれましては、各部会に引き続き全体会にもご出席いただきありがとうございます。私は本日司会を務めさせていただきます、総合政策担当課長代理の小林と申します。どうぞよろしくお願いいたします。ここから着座にて失礼いたします。まず初めに会議に先立ちまして、間嶋区長より開会のご挨拶を申し上げます。

○間嶋区長 皆さんこんばんは。港区長の間嶋です。先日の区政会議の部会のご出席と併せまして、本日のご出席、改めて厚く御礼を申し上げます。この区政会議は大阪市が区民の皆様方と協働しながら区政を進めるため、平成２３年度から各区で開催されてきたものでございます。いわゆるニア・イズ・ベターをさらに推進していくには、区長が地域の皆様方の声を丁寧を受け止めますとともに、区民の皆様方に区政運営にご参画いただき、その内容を評価していただくことが欠かせません。区政会議はその基本となる大切な仕組みだと受け止めております。委員の皆様方も同じ思いでご参加いただければ幸いです。今年度は来年度からの将来ビジョンの策定に向けた重要な年でもあることから改めて区政会議の目的をあえて申し上げますさせていただきました。そして、今回は、委員参画型の区政会議となって初めて将来ビジョンを策定する機会にもなります。行政だけで一方的に将来ビジョンを決めていくのではなく、子育て、福祉、防災、教育、地域活動など各施策について効果的に実施するには、住民の皆様方のご意見を積極的に反映していくことが非常に重要であると思っております。過去を知り、未来に繋がる視点を大切にしながら、次の時代の港区を皆様方と共に描いていきたいと考えております。その一環といたしまして、本日は前回と同様の手法として、区政会議委員の皆様方が積極的にご参加でき、またお知恵を頂戴できるようにグループワークの方法で実施をさせていただきます。本日はぜひ港区のよいところをさらに伸ばすためのアイデアや、気になる課題への率直なご指摘も含めて、こうありたいというポジティブな視点でご意見を寄せていただければと思います。ただ、議論の中で課題を出していくという

観点でのネガティブな意見というのはある程度やむを得ないと思いますが、その上で解決するにはこういう視点が大事なのではないかと、ポジティブな視点で、キーワードという形でも結構ですので、ご意見を寄せていただければと思います。貴重なお時間でございます。本日は実りある意見交換の場となりますよう、私自身今日はできるだけ聞き役に徹してまいりたいと思っておりますので、本日は何卒よろしくお願い申し上げます。

○小林課長代理 間嶋区長、ありがとうございます。続いて出席状況をご報告します。区政会議は委員定数の2分の1以上の出席により成立すると規定されております。委員定数24名のところ、現在19名の委員の皆様にご出席いただいておりますので、本会議が有効に成立していることをご報告します。次に会議運営上の注意事項をお伝えします。本日の会議は公開とします。会議の様子は動画撮影し、後日、港区役所のYouTubeアカウントにて一定期間掲載いたします。また議事録作成のため録音も行います。正確な議事録を作成するため、ご発言の際は恐れ入りますが、必ずマイクをご使用くださいますようご協力をお願いいたします。続きまして、本日の配布資料を確認させていただきます。お手元にごございます資料1から資料10、資料の右肩の方に資料番号を付けておりますのと、前のモニターの方にも資料一覧を掲示させていただいておりますので、お手元をご確認ください。資料9につきましては、資料9-1から9-4と4種類ございます。もし不足等ございましたら、恐れ入りますが挙手でお知らせください。また進行の途中で不足にお気付きの場合も、遠慮なくお声がけいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。皆様資料はございますでしょうか。では続きまして、ここで委員以外の出席者をご紹介します。区政会議の運営に関する条例において、市議員は区政会議における議論に資するため必要な助言をすることができると規定されております。本日は西議員にご出席をいただいております。なお藤田議員につきましては、公務のためご欠席とお聞きしております。それでは、早速ここからの進行を平尾議長の方をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○平尾議長 皆さん、こんばんは。議長の平尾でございます。ここからは進行させていただきます。よろしくお願いします。まず資料1、全体会次第に書かれています通り、本日の議題は3点ございます。まず1点目は港区将来ビジョンの策定に関する意見交換です。これからグループワークをするということです。それから2点目が、前回の会議後にいただいたご意見への回答です。3点目が、ご意見を反映した施策の紹介ということです。あとその他また後程何かあればということです。それでは早速、1点目、港区将来ビジョンの策定に関する意見交換について、区役所の方からご説明をお願いします。

○武内課長 皆さんこんばんは。総合政策担当課長の武内です。本日もどうぞよろしくお願いいたします。議題1、将来ビジョンの策定に関する意見交換ですが、前回3月の区政会議では将来の港区がこうあってほしいというテーマで皆さんに意見交換を行っていただきました。本日は将来ビジョンに盛り込むキーワードを皆さんでご議論いただきます。意見交換に入る前に私から2点説明がございます。まず1点目は将来ビジョンの大きな柱についてです。資料5をお手元にご用意ください。横向きの資料です。左側に現在のまちづくりビジョンを載せていますが、囲んでいる第4章まちづくりの方向性に5つの項目を立てています。一方、矢印の右側、新たな将来ビジョンをご覧ください。こちらは第2章を2030年の港区のありたい姿と題して、4つの項目に整理しました。具体的には、現在のビジョンでは1つ目にコミュニティ、2つ目に防災・防犯を置っていますが、新たなビジョンではこれらを1つにまとめたいと考えております。理由といたしましては、いざという時の備えとして地域における日頃のつながりが大切であること、また、港区の地域特性から防災の取り組みはとても重要な課題と捉えており、災害時には共助の一端を担う地域コミュニティとの密接な関連もございます。もちろん地域コミュニティは防災・防犯のみならず、地域福祉や子どもの見守り、まちづくりにも深く関わりがあると承知していますが、新たなビジョンにおいては地域のつながりと安心を感じら

れるまちとして、コミュニティと防災・防犯を1つの項目として大きく括りたいというのが狙いですので、ぜひご理解願います。続いて資料6をご用意ください。港区の特徴を示すデータを産業、健康、防災の観点からピックアップいたしました。前回、港区の人口動態を説明しました。区内の2世帯に1世帯は一人暮らしであることや、この10年間で外国籍住民の方がおよそ2倍に増えているとか、興味深いデータを紹介したことを覚えていただいているかと存じます。本日も皆さんと一緒に、この統計データから港区の現状を一緒に見ていきたいと思います。まずは産業ということで、①港区の産業構造をご覧ください。棒グラフが左と右にあります。左側が業種別の事業所の数、具体的には会社やお店がどれだけあるかという数字ですが、港区では小売業・卸売業の次に製造業が多くなっています。また右側の棒グラフ、こちらの従業員数で見ますと、最も多いのが運輸業・郵便業の分野で、製造業は5番目となっています。製造業は事業所の数は多いが、働いている人の数がそこまで多くないということは、小規模な事業所が多い。つまり、町工場が数多くあるものづくりのまちであるということが読み取れます。港区の場合は金属加工業が多いのが特徴です。また働いている人が多い運輸業では港区が100年以上も前から大阪港とともに発展してきたまちであり、現在ではベイエリアの高速道路の結節点ともなっており、大阪における物流の大きな拠点であることから、倉庫業や通関業務を含む運輸業が大きな雇用を生み出していると考えられます。続きまして、②港区で働く人の居住先、港区に住む人の勤務先という円グラフが2つ並んでいるシートをご覧ください。左側の円グラフは港区内で働いている人がどこに住んでいるかを示すものです。多い順に言いますと、およそ3分の1、33.5%が港区内にお住まいの方。続いて23.8%が港区以外の大阪市内にお住まいの人となっています。ちなみに大阪市以外の府内にお住まいの方が23.4%、他府県から港区まで働きに来られる方が13.9%。この2つを合わせると37.3%と、3分の1以上を占めていることがわかります。右側の円グラフをご覧ください。今度は区内に住んでいる人がどこで働いているかを示しています。港区内にお住まいで、港区内で働く方が38.2%で、4割近くいます。続いて市内のほかの区で働く方

が43.9%で、合わせると8割以上にも上ります。簡単にまとめますと、港区には意外と遠くから働きに来る方も結構いるのですが、区民の方は比較的近場で働いているということが分かりますし、区内に働きに来る人と区外に働きに出る人を比べると、実は外から港区内に働きにくる人の方が4,500人程多いということがお分かりいただけると思います。次のページには参考として、大阪市24区の昼夜間人口比率を載せています。港区は104.5%となっており、夜いる人が100人としたら昼いる人が104.5人ということですが、通勤や通学での出入りを見ると昼間のほうが少し多いという状況になっています。資料左下、スライド番号5ページからは皆さん興味のある健康に関するデータを紹介します。③港区の健康寿命は介護や支援を必要とせず、元気に自立して生活できる期間を表しています。港区は男性が77.66歳、女性が82.70歳と大阪市の平均をやや下回っていることがわかります。続いて④のグラフでは、2010年から2020年までの健康寿命の変化を示していますが、ご覧の通り男性女性とも10年間で2歳以上の健康寿命の伸びが見られます。ちなみに次のページは大阪市各区の健康寿命を載せています。また後程参考にご覧ください。続きまして、⑤港区の特定健康診査受診率。こちらは男性女性とも低い水準にとどまっています。この特定健康診査は、生活習慣病のリスクを高めるとされるメタボリックシンドロームやその予備群の方を早期に発見するために実施しているものでございます。やや市内の平均より低い数値です。こちらでも健康寿命と同様に、次のページに大阪市24区のそれぞれの受診率を載せていますので、また参考にご覧ください。最後に防災、とりわけ水害の被害想定に関するデータをご紹介します。⑥港区の平均標高をご覧ください。皆様ご存知のとおり、港区では戦後40年をかけて大規模な区画整理を進め、高潮被害を防ぐため区内の9割に近い面積におよそ2メートルの盛り土を行ってきました。しかし、三方を海と川に囲まれている土地で、区内全体的に平均標高は低いということがお分かりいただけるかと思います。⑦と⑧は津波と高潮の水害想定で、まず津波の浸水想定をご覧ください。青く塗られている部分ですが、想定される最大クラスの津波が発生した場合を示していますが、港区のほぼ全域で30センチ以上の深さ

で水につかり、特に平均標高の低い区の東南部や大阪港駅周辺では最大5メートルにも及ぶ浸水被害の可能性が予測されているところです。続いて、⑧赤く塗られている部分です。こちらは高潮の被害想定ですが、前提として伊勢湾台風クラスの最大級の台風が大阪に最も影響を及ぼすコースを進んで、閉めた水門や堤防が決壊する可能性も踏まえて出された被害想定であることをご理解の上ご覧ください。これによりますと、大規模な高潮がもたらす被害は、区内のほぼ全域で50センチ以上の深さで水につかることが見込まれているだけでなく、区の半分以上の地域では5メートル以上に及ぶことが見て取れます。このように産業と健康と防災に関するデータを本日ご紹介いたしました。いかがでしたでしょうか。何か意外な発見などございましたでしょうか。なお、今回の統計データの収集分析には、監査法人トーマツ大阪事務所の協力を得ております。港区の新たな将来ビジョン策定に際しては、行政を進める区役所の方針や考え方を区政会議の場でお示しし、皆さんからのご意見やご提言を踏まえて案としてまとめてまいります。さらにトーマツ大阪事務所がお持ちの専門的な知見を得ながら、2030年にはこうありたいという港区の将来像をまとめてまいりたいと考えております。資料5及び資料6に関する説明は以上でございます。

○平尾議長 ありがとうございます。ただ今の説明に対して、ご質問、ご意見等ございますか。それでは、グループワークの方に入りたいと思います。区役所職員の皆さんは、担当部会に入って意見交換に加わっていただければと思います。準備が整いましたら、意見交換の手順をご説明いたします。

○武内課長 始める前に、私、総合政策担当の武内から、グループワークの手順、ルールをご説明いたします。今回、事前資料で意見交換用ワークシートをお送りしております。今日お持ちの方はそちらを机の上に出していただいて、もし持ってきてないという方は資料7をお手元にご用意ください。ここからは少し前のモニターにご注目いただけますでしょうか。先程新たな将来ビジョンでは4つの柱を建てる

ということをご説明いたしました。それぞれの柱ごとに2030年のありたい港区の姿、地域のつながりと安心を感じられるまちなどを掲げており、それを実現するための区の施策や事業の方向性を今後書き込んでいくこととなりますが、本日皆さんに考えていただくキーワードは、そのありたい姿と施策事業の方向性をつなぐ非常に重要なものになると考えています。例えば、2番の誰もがいきいきと健やかに暮らせるまちは健康、福祉のテーマですが、その中で最も大事なのが『一人でも健やか』なのか、あるいは『誰一人取り残さない』なのか、さらには『命を大切にす』る』のか、いろんな観点があると思います。どれが正解というわけではありませぬし、こちらが資料7あるいは事前にお配りしたシートにお示したキーワード例以外にも、ご自身で新たに考えていただくのも大歓迎です。皆さんの日頃の生活やお仕事、地域での活動に基づく多様な意見や考えが盛り込まれてこそより良い港区の将来ビジョンになると考えています。グループワークは3つのステップで進めてまいります。まず1つ目、グループで意見交換を行う前に、最初に5分程度お一人お一人で将来ビジョンに盛り込みたいキーワードやフレーズをその理由とともに考えてみてください。続いて2つ目、グループ内で各自が選んだキーワードを理由とともに発表し合ってください。3つ目、各グループで2つ3つ程度のキーワードを選んで、発表用の用紙にまとめてください。ここまでのグループワークで25分から30分程度の時間をお取りしたいと考えております。各グループで選んだキーワードは、議長さんから全体に向けて発表していただきます。その際、左のホワイトボードに貼りだして皆さんに見えるようにしていただくので、なるべく大きい字で、もし理由を書けなければキーワード、フレーズだけでも良いので、1枚の紙に1つのキーワード、それが2枚とか3枚並ぶ形で発表していただくこととなります。なお、今回考えていただくキーワードやフレーズが、別に将来ビジョンのどの柱に紐づくかまでは考慮いただく必要はございません。自分がこれから将来の港区がこうありたいという時にこの言葉が大事だということを考えていただければ結構でございます。個人ワークとグループワークの時間の目安は、各グループの進み具合を見ながらまたお声掛けして回ります。では早速、まずは5分程度個人で考えてみ

てください。

～グループワーク（約３０分間）～

○平尾議長 それでは準備ができつつあるかと思いますので、順番に発表していただきます。それでは福祉部会の西川副議長から発表がございます。

○西川副議長 では福祉部会で話し合った内容です。若干区役所のオーダーとは違いますが、キーワードとその理由ということで、『１人でも健やかに、そのために健康寿命は大切で予防に気を付けよう』という１個のキーワードを考えました。その理由として、お一人暮らしの方が増えているというお話がありましたが、１人でも健やかに、自分のことは自分ですというセルフケアが大事であり、そうすると予防が大事になってくるので、健康寿命を大切にすること、特定健診の受診率を上げるとか、予防のために運動をする、それからアプリを利用して予防に気をつけながら健康に気をつけるということが大事になってくるだろうということで、１つ目に挙げました。２つ目はこれもワンフレーズで、『高齢者に優しい、認知症になっても暮らせるまち』ということで、最近高齢者が楽しそうに歩いている姿をあまり見かけないという話題になりました。むしろ痛そうに足を引きずりながら下を向いて歩いている方が多いのではないだろうか。高齢者が楽しそうに過ごしていると自分の未来も明るいと思えるのではないだろうか。そして自分が認知症になっても拒否をされるのではなく受け入れられ、見守ってもらい、あそこのおばあちゃん最近ちょっと認知症になって物が分かりにくくなったけれどかわいいなどと言ってもらえるとうれしいと思うので、自分が認知症になっても安心して暮らせるまちが理想だと考えました。そして最後は、『下町のおせっかいさんが残るまち』ということで、昔のおうちというとお醤油の借り合いであったり、誰々さんの家はあの辺りで寝ているなど、何でも知っていたりするようなことが多かったのですが、最近はそれらが少ないということで、困っている人を放置するのではなく、

お互い気を付けて、互いに支え合う、そんな下町のいいところがあったのではないだろうか。それが復活すると面白いと考えました。また、これができると防犯にも繋がるのではないのでしょうか。昔は鍵をあまり閉めなくても大丈夫だったが、今はやはり鍵を閉める。閉めないというのはやはり危険です。本来ならこども１１０番のおうちは、こどもが危険な時に駆け込んで家に入れるというのが本来の狙いであるはずが、こども１１０番のおうちの中でもやはり鍵を開けられないというような話が出たので、理想は下町のおせっかいさんが残るまちになればいいということで、この３つを選びました。以上です。

○平尾議長 それでは続きまして、安心安全・まちづくり部会さん、ご準備をお願いします。

○西村議長 安心安全・まちづくり部会から、こちらの２つのキーワードについて発表させてもいただきます。一つ目が『賑わいを感じられる大阪の海の玄関口』というキーワードです。やはり港区といえ、クルーズ船が泊まるようなとても大きい海の玄関口なのですがそれをより強調して、さらに発展させて賑わいを良くして、まちを発展させていこうということでこちらのキーワードを選びました。二つ目が、『子どもからお年寄りまで元気でつながるまち』ということで、子どもが元気で、そしてお年寄りまで元気で、上から下まで、また横にもつながるまちで皆が元気になるようにということでこのキーワードが決められました。さらには、子どももお年寄りも皆がつながることで防災にも役立てるということで、こちらのキーワードを選びました。以上です。

○平尾議長 最後に、こども青少年部会さん、ご準備をお願いします。

○鳥取議長 こども青少年部会では、まさしくキーワードとしては、『子育て世代にやさしいまち』です。多文化共生というのは、先ほど人口推移の中でも外国人の

方が増えてきています。もちろんこどもの教育という部分もありますが、そこに携わる親、もしくは大人の人とともに勉強しながら生きていくという意味でのキーワード、並びに理由として挙げさせていただきました。2つ目は、『活気あふれる皆が元気になれるまち、人が集まるまち』です。やはり港区は海とか川というところで、何かイベント的なことを開催する、もしくはこのようなところがこのようなことをやっているという情報共有を盛んに起こしていくというところで、活気あふれる皆が元気になれるまち、人が集まるまちということに理由付けとして記載させていただきました。最後に、『ぼちぼちいこか』というキーワードです。昨今「キレる」という現象があり、教育にも関連してきますが、キレることが多いというのは急ぎ過ぎているのではないかとというところで、簡単にキレて相手もまたキレてでは前へ進まない。そうではなく、ゆっくり進めばキレることもないのではないかとという意味が1つ。もう1つは皆で寛大になろうということで、グループで話した中で、子どもの行事や地域行事に対して「うるさい、やめろ」というような話がやはりあるそうで、それに関して警察の人まで呼ぶような状況になることもあるという状態だそうです。昔の昭和の時代をメンバーで話していたのですが、やはりそういう部分で「急がずにゆっくり行こう」ということで、『ぼちぼちいこか』というキーワードにさせていただき、この2つを理由に挙げさせていただきました。以上です。

○平尾議長　それでは、ただいまの発表に関しまして、区役所の方から何かコメントございますか。

○武内課長　区長からはまた最後にコメントをいただくとして、今日は各グループで将来ビジョンに盛り込みたいキーワードというテーマで、活発な意見交換を行っていただいております。いずれも、日ごろまちで暮らしている生活の実感に基づいた言葉がたくさん出てきたというのを印象深く受けとめております。今ご提案いただいたキーワードを最大限使いつついろいろ考えながら、新たなビジ

ョンの4つの柱に掲げるありがたい姿のいずれにもイメージを膨らませたり、あるいはより具体化したり、さらにはビジョンに魂を入れるような大事な言葉をいただいたと思っております。次回10月の区政会議では、本日いただいたキーワードを盛り込みつつ、将来ビジョンの骨子、できれば素案レベルのものをご提示できるように、本日の議論を踏まえて区役所内でしっかりとまた議論してまとめていきたいと考えております。引き続きのご協力、そして将来ビジョンへの関心をこれまで以上に持っていただければ大変嬉しく思います。簡単ですが以上です。

○平尾議長　ありがとうございます。何かこれだけは言っておきたいという方はいですか。では続きまして議題2、前回の会議後にいただいたご意見への回答と、それから議題3、ご意見を反映した施策の事例について、区役所から一括して説明をお願いします。

○武内課長　総合政策担当武内です。議題2、頂いたご意見と区役所の対応、考え方については資料8をご覧ください。委員から2つのご質問をいただきました。1つは、港区役所庁舎のトイレの改善。とりわけお子様連れの来庁者への対応です。港区役所では、庁舎内にベビーチェアやベビーシートを設置したトイレはございますが、なにぶん建物自体が建設から既に30年ほど経ってしまして、設備も老朽化して配管の詰まりなどの不具合が生じるなど改修の必要性も感じています。しかし、設備の全面改修には数億円規模の費用が見込まれることから、まずはエレベーターなど緊急度の高いものから順次更新を進める予定としております。続いて2つ目のご意見は、学校統合により廃止される校舎の活用に関してのご質問がございました。ご承知のとおり、港区では来年4月に築港中と港中が、令和11年4月には3つの小学校が再編されます。ご質問をいただきました池島小、港晴小、築港中は、いずれも災害時避難所などに指定され、現時点ではこれらに代わる施設もないことから、学校再編後も継続が必要と考えています。築港中に関しては、既に学校跡地活用検討会議を開催し、地域を代表する方々からの意見を伺っており、港晴

小、池島小でも同様の会議を立ち上げてまいる予定です。これらの会議は開催の都度、港区役所のホームページで事前にお知らせするとともに、会議が終わった後には当日配布した資料やどのような意見交換がなされたかの概要も載せております。またぜひご覧ください。続きまして、議題3、会議でのご意見を反映した事例。こちらは資料9-1をご覧ください。港区役所では日々寄せられるご意見に真摯に耳を傾け、事業施策の改善や新たな取り組みを進めております。本日は区政会議でのご意見を反映した具体的な事例をいくつか紹介します。1つ目、防災の情報発信に関してのご意見がございました。前回の区政会議の場で、区内3つの駅に地域の防災活動予定を紹介するページに繋がるQRコードを掲載したポスターを掲出していることさらに大阪防災アプリの紹介も追加したいとお答えしました。その後実際に対応し、防災アプリにつながるQRコードの追加掲出は完了しております。さらに★その後の対応、こちらに写真を載せておりますが、港区内に50か所ほどある掲示板に今年の3月までは港区制100周年と万博開催をPRするみなりんとミャクミャクを載せたステッカーを貼っていましたが、この4月から新たに南海トラフ巨大地震に関する啓発と、大阪防災アプリに関する情報を載せた、日本語と英語を併記したステッカーに貼り替えました。街なかで日常的に目にする掲示板を活用し、情報発信をすることで、多くの方に気付きを促し、いざという時の行動につながればと考えております。次のページをご覧ください。こちら委員からのご意見で、港区の魅力とは何でしょうか、海遊館の他にどこを訪ねたらよいのかというご意見を頂戴しました。その時は、住むまちとしての魅力と訪れるまちとしての魅力をお答えいたしました。こちら★その後の対応として、区内全戸、全事業所に配っております広報みなとに、港区の魅力を様々な角度からお伝えする記事を掲載しておりますので、簡単に紹介します。5月号から「#キラリみなと」という連載を始めました。こちらは港区ならではの、もの、こと、人の魅力を実際に取材しコラムとして紹介しています。5月号、6月号ともみなトクモン認定商品を取り上げました。また4月号では、1ページ全てを使い「春の弁天町を歩こう♪」と題したイラストマップを掲載しました。こちらのカラー刷りのA3のものも合わせて入れて

おります。隠れた魅力のスポットの紹介とまち歩きを促す記事の特集として掲載いたしました。今後も広報みなと、特に7月号は趣向を凝らした特集記事を掲載しますので、ぜひ楽しみにしててください。また資料9-2から9-4は、来年4月に一緒に築港中学校と港中学校の生徒の皆さんが交流事業の一環として、クルーズ船で天保山に到着するお客様を想定し、地元中学生ならではの視点で港区の観光資源をテーマごとに組み立てたコースを区役所がチラシにまとめたものでございます。こちらのチラシは現在実際に天保山客船ターミナルの1階ロビーに設置しております。以上、ご紹介した広報みなとの記事やこちらの中学生在が考えた観光コースのチラシを参考に、ぜひ区政会議の皆さんにも改めて港区の様々な魅力に触れていただければ嬉しく思います。前回も申し上げましたが、大阪市あるいは港区が行政として仕事を進める上で、様々なルールや予算の制約があったり、皆さんからご提案いただいてもどうしてもできないこともあります。今回紹介した事例のように、区民の方からいただいたご意見に応じていく努力を続けてまいりますので、ぜひ港区をより良くする前向きなご提言をお寄せいただければと存じます。ありがとうございました。

○平尾議長　ありがとうございます。ただ今の説明につきまして、何かご質問、ご意見等ないでしょうか。それでは本日は市会議員の西先生にもご出席していただいております。一言お願いします。

○西議員　皆様、いつも大変お世話になっております。本日は間嶋新区長を迎えましての第1回目の全体会ということで、また皆様には活発な議論を聞かせていただきまして本当にありがとうございました。港区のまちづくりにおいてソフト面で皆さんが色々な知恵を出していただいて今後もまたより良いまちづくりを進めていただければと思っております。先程お聞きしましたお話を含めると、公園で杖をついた高齢者の方や下を見て歩いている人が多いという話を聞きまして、私もギクッとしました。今、足を痛めており、杖をついて歩いている状態でして、障害を持た

れた方の気持ちが本当によく分かりました。何するにしても、階段の上り下りを含めてバリアフリーの大切さというのを実感したところでございます。そういった新たな視点でまた私も頑張ってまいりたいと思います。そういう意味では先程より色々この部会ごとの話し合いを聞いておりましたら、ほとんどがマンパワーと言いますか、本当に昭和の時代の取り組みというような気がしました。今大阪市はDX、情報、インフォメーション、いろいろな形で進められていますが、そういったことよりもやはり旧来の人と人の温もりといったことでやはり繋がっていかうということが最も大事だということも今日認識した次第でございます。今後とも大変お世話になりますが、何卒またよろしく願いいたします。ありがとうございました。

○平尾議長 西議員、ありがとうございました。では最後に間嶋区長に、全体を通して感想等よろしく願いいたします。

○間嶋区長 どうも今日はありがとうございました。就任前の3月にこの全体会に出席して本当によかったと思っています。3月があったから、今日のこの全体会でここまできたんだろうことがわかります。前はそれぞれの委員の方がそれぞれの思いを意見として出していただきました。それを踏まえまして、事務局である区役所の方でキーワードなりご意見なりをできるだけそのままに、偏りなく整理させていただきました。今日はそれを参考に、委員の皆さんそれぞれが、その中から重要だと思われるキーワードを選ばれたり、もしくは、いやこれは違う、ほかにもっとあるだろうということで、新たなキーワードを考えておられたりということをしていただきました。そしてそれを選んだり考えたその理由につきましても、武内課長のからご説明した情勢的な分析の資料を上手に活用しながら述べていただいたと思います。それぞれの思いを単なるキーワードとして集約していただくだけではなくて、さらには、例えば、単にどのキーワードが良いかという議論ではなく、皆さんから出された意見のキーワードを上手にリンクしていただいて、コンセプトにまで

していただいきました。これは私たちが当初予想していたよりもはるかにすばらしい成果だと思っています。先程武内課長が、ほぼそのまま使えるようなコンセプトではないかと申し上げたのですが、そこまでまとめていただいたということで、本当に魂が入ったコンセプトと思っています。これから秋に向けて、皆さんに入れていただいた魂を少しずつ具体的なものにしていくために、少しまた区役所の方で整理をさせていただいて次の議論に繋げていきたいと思っています。それと、前回・今回で用いたブレインストーミングというのは非常に限られた時間で議論をしてまとめるというのが非常に難しい技法です。ブレインストーミングの良いところとは、それぞれの意見が皆さんから出されることですが、それを一定の時間の間に一定の結論を出すのは難しいのです。それが今日は最初こそそれぞれの部会の議長が進行し、それぞれの委員さんによるキーワードとその理由の意見の出し合いから始まりましたが、いつの間にか口火を切る人があらわれ、そこにさらに補足する人が出てきて、そこから良い意見がまとまってきたように思います。そしていつの間にかまとめる人が出てきました。本当に皆さんが熱心に議論をしていただいて、自然にそれぞれの役割分担を持っていただいて今日の方角性に至ったのかと思っています。それともう1つ、福祉部会の発表の中で、元々福祉という観点で議論をしていく中で防犯にも繋がるコンセプトのご意見をいただきました。要は1つの分野の議論から違う観点での効果に広がっていくことも今日の成果ではなかろうかと思っています。本当に今日は色々ありがとうございました。また秋に向けて皆さんのご意見を踏まえて、我々サポート役として整理をさせていただいて、また皆さんがより参加しやすいような形で次の全体会の方に臨んでいきたいと思っています。どうもありがとうございました。よろしくお願いいたします。

○平尾議長 間嶋区長、ありがとうございました。それでは、以上で本日の議事は全て終了いたしました。皆様のご協力に感謝申し上げます。それでは、進行を区役所にお返しいたします。

○小林課長代理 平尾議長、議事進行ありがとうございました。委員の皆様もご協

力いただきありがとうございました。続いて最後にアンケートのお願いでございます。資料10をご覧ください。港区では、説明を簡潔に、意見交換や質疑応答の時間を長くという方針のもと区政会議の運営に努めておりますが、さらに充実した会議となるよう、こちらのアンケートは委員の皆様にご協力をいただきたくお願い申し上げます。お時間のある方は今この場でご記入いただき、机の上に置いてご退席ください。またお時間の都合で今ちょっと難しいという場合は、お持ち帰りいただいてゆっくりご記入いただきまして、郵送、ご持参、メール、FAXなどいずれのご提出でも結構ですのでご協力お願いいたします。その際の提出につきましては、6月30日、今月末を目処にお願いしたいと思います。またグループワークをしていただいた時の個人ワークの資料7、キーワードが真ん中に書いてあり、一番下に皆様個人のご意見を書いていたシートですが、そちらも参考にさせていただきたいので置いて帰っていただければと思いますのでご協力よろしく申し上げます。それでは最後に菅原副区長より閉会のご挨拶を申し上げます。

○菅原副区長 本日は、港区区政会議全体会にご参加いただきありがとうございます。グループワークで非常に和やかな雰囲気の中で、率直な具体的なお意見をたくさん交わしていただきまして、素敵なキーワードがたくさん出てまいりました。地域の実情に根ざした課題や日々の暮らしの中で感じておられることを、熱意を持ってお話いただき本当にありがとうございます。我々港区役所の方で、区長筆頭に我々職員自ら考えながら仕事をしておりますが、本日の区政会議や各部会で委員の皆様からいただいたお話につきましては、我々職員にとっても大きな学びとなり、本当にありがたいことだと改めて感じております。本日いただいたこういった貴重なご意見につきましては、港区将来ビジョン策定に向けてしっかり活かしてまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。港区がより住みやすく活力あるまちとなりますよう行政として力を尽くしてまいりますので、引き続きご理解ご協力の方をよろしくお願いいたします。最後に、これからの季節、地域の方では夏祭り・盆踊りなど盛大に行われる時期でもございますが、梅雨の終盤の大雨、台

風、それから熱中症の危険性も心配されますので、委員の皆様にはくれぐれも健康にご留意いただきまして、酷暑を無事に、またお元気に過ごしていただきますようよろしくお願いいたします。本日ご参加いただきました委員の皆様、市会議員の方に改めてお礼を申し上げますとともに、皆様のご健勝と港区の更なる発展を願いまして、閉会のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

○小林課長代理 菅原副区長、ありがとうございました。以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。皆様、長時間本当にお疲れ様でございました。お気を付けてお帰りください。